

# 施工説明書

## キンパッキンロング

### KP-L102・KP-L120・KP-L150

この度は、本製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

正しく取り付けいただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき施工してください。

#### 安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

### ⚠ 注意

⊘	この記号は、禁止の行為を示しています。	!	この記号は、必ず実行していただく「指示」内容を示しています。
⊘	本製品に対して、不必要な打撃や加工を加えないでください。		
⊘	本製品に加工を施す場合は、長さ調整の切断のみとします。		
⊘	本製品は、防鼠機能付きですので、 <b>防鼠材の取り付けは不要です。</b>		
!	本製品は、 <b>基礎の内外周すべてに隙間なく敷き込んでください。</b>		
!	本製品同士の継手など、取り合い部に隙間が生じる場合、隙間は8mm以下となるようにしてください。		
!	本製品は、 <b>必ず「上側」と明記してある方を上側(表向き)</b> にして使用してください。		
		 Ⓛ 全て水平面 Ⓜ 両端に天端モルタルのバリ逃げ	
	アンカーボルトがキンパッキンロングのアンカーホールと合わない場合は、左右を入れ換えて、アンカーボルトがあたらないように敷き込んでください。		

※KP-L102は土台 105角・120角・404(204)にご使用いただけます。

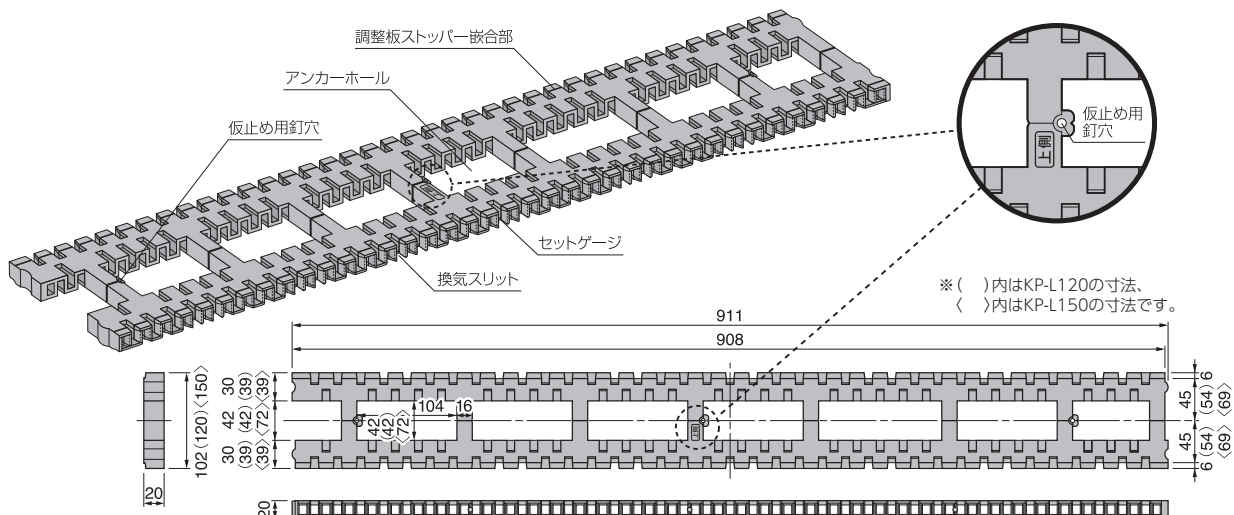
※KP-L120は土台 105角・120角・135角・404(204)・406(206)にご使用いただけます。

※KP-L150は土台 150角・406(206)にご使用いただけます。

#### 製品寸法図(単位:mm)

※キンパッキンロングの表面(上面)は上側マークの付いている面です。

※有効換気面積は約102.55cm<sup>2</sup>/m(93.1cm<sup>2</sup>/本)です。



# 1

## 施工ルール(敷き込み位置)

基礎の内外周すべてに隙間なく敷き込んでください。

※本製品同士の継手など、取り合い部に隙間が生じる場合、隙間は8mm以下となるようにしてください。

外周にキノパッキンロング、内周にキノパッキンロング以外のキノパッキン(KPシリーズ)を敷き込む場合は、それぞれの商品の施工説明書をご参考ください。

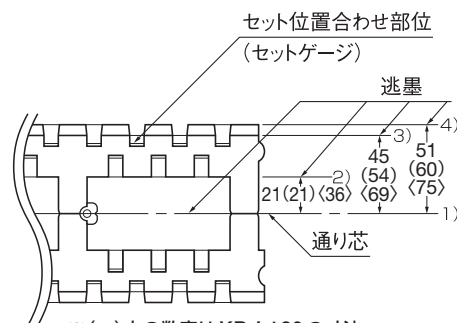
# 2

## 施工手順

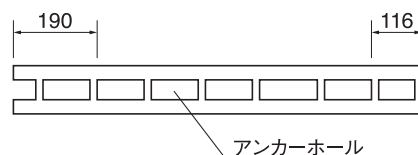
在来軸組工法・枠組壁工法とも土台とキノパッキンロングの芯を一致させることが原則です。(参考納まり図参照)

① 1)~4)のいずれかの逃墨を打ちキノパッキンロングをセットしてください。

- 1) 通り芯の逃墨を打ちキノパッキンロングを中心線に合わせる。
- 2) 通り芯より21(21)〈36〉mmの逃墨を打ちキノパッキンロングのアンカーホールの内側に合わせる。
- 3) 通り芯より45(54)〈69〉mmの逃墨を打ちキノパッキンロングのセットゲージに合わせる。
- 4) 通り芯より51(60)〈75〉mmの逃墨を打ちキノパッキンロングの外側に合わせる。



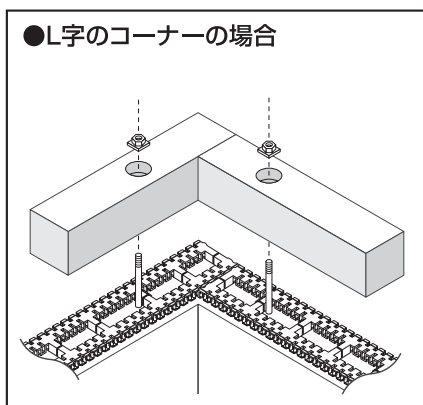
※( )内の数字はKP-L120の寸法、  
〈 〉内の数字はKP-L150の寸法です。



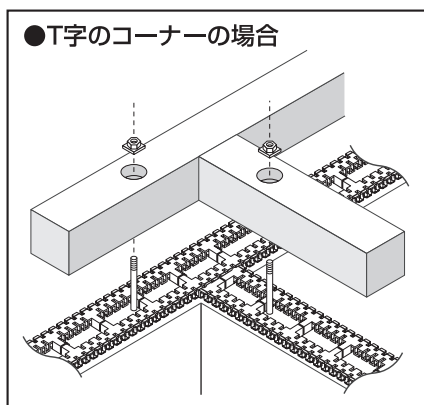
② 基礎の全周に隙間なく敷き込んでください。必ず「上側」と明記してある方を上向きにして使用してください。

※敷き込む際、釘固定の必要はありませんが、コーナー部から敷き込み、最初のキノパッキンロングを市販のコンクリート釘で2箇所固定して基準を設け、続けて嵌合部を合わせながら釘固定を一体一箇所または、一定の枚数毎で固定(仮留め)をすると施工上、ずれることなく敷き込めます。

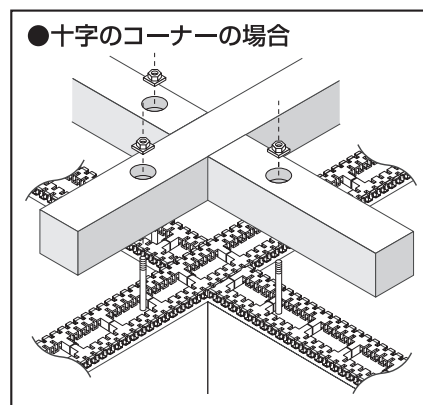
※コーナー部分で長さ調整が必要な場合は、キノパッキンロングをカットして敷き込んでください。ただし、キノパッキンロングを端部より116mm以下または190mm以下にカットしたものを敷き込むことはできません。アンカーホールが1つ以上確保される長さでカットしてください。(右図参照)



●L字のコーナーの場合



●T字のコーナーの場合



●十字のコーナーの場合

※基礎の外周のみキノパッキンロングを敷き込み、内周はキノパッキンを施工ルール(敷き込み位置)に従って施工していただくこともできます。

## 調整板(別売品)の施工方法

●調整板は、KP-L102用(SK-S1021・SK-S1022・SK-S1023)とKP-L120・KP-L150用(KP-SL1201・KP-SL1202・KP-SL1203)があり兼用できません。

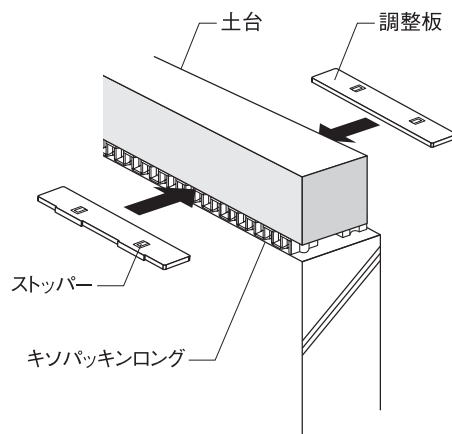
●土台設置後、土台とキノパッキンロングとの間に隙間が生じる箇所には、必ず別売品の調整板を使用してください。(土台や基礎の不陸発生防止)

●調整板は2枚で1セット(水平レベル)です。

※調整板の重ね枚数は一箇所2枚以内を厳守してください。

●調整板の取り付けは、キノパッキンロングの両サイド(基礎の内と外)からキノパッキンロングの上(土台との隙間)に差し込み、手で入らない場合は、ハンマーなどで軽く叩き込んで土台の下に完全に挿入してください。

※調整板を奥まで差し込んで、キノパッキンロングの表面のストッパー嵌合部(溝部)へ、ストッパーを嵌合させてセットしてください。



# 3 水切りの取り付け施工について

キソパッキンロングの敷き込み完了後、施工状態を確認し、次の要領に従って取り付けます。  
なお、水切りの取り付け位置は工法(在来軸組工法か枠組壁工法)によって異なりますので注意して取り付けてください。

## ■防鼠付水切りの取り付け

### ① 在来軸組工法の場合…

土台の外側に直接取り付けます。(防鼠付水切りの下端を基礎の天端レベルに合わせてステンレス製の釘にて、間隔は450mmを目安に留め付けてください。)

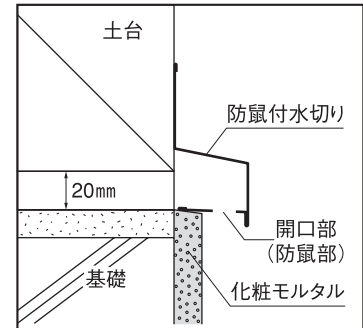
※基礎の立ち上がり部の外面が土台の外面より10mm以上飛び出す場合、防鼠付水切りの取り付けは、外壁の下地材(構造用合板・木摺板など)の外面に取り付けてください。

### ② 枠組壁工法の場合……

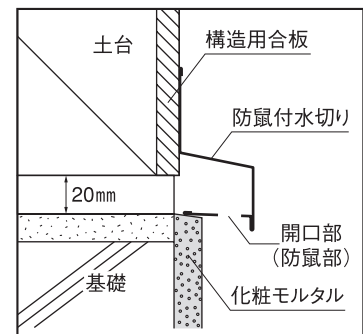
土台と側根太を継ぐ構造用合板の外側面に取り付けます。(セットおよび留め付けは①同様)

### 《防鼠付水切りの納まり》

#### ●在来軸組工法



#### ●枠組壁工法



(基礎立ち上がり部の左官仕上材が防鼠付水切りの換気開口部に被らないよう注意してください。)

## ■水切りのみを取り付ける場合

水切りのみを取り付ける際には、以下の点にご注意ください。

(取り付け位置は、防鼠付水切りと同様です。)

① Jotoの水切り(WSF-40など)を使用する場合は、キソパッキンロングの換気スリットを水切りの立ち上がり部で遮断しないよう、水切りの取り付け位置を構造用合板または土台に墨出しを行ってから取り付けてください。

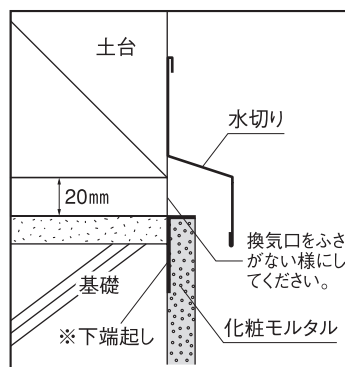
② 基礎立ち上がり部の化粧モルタルがキソパッキンロングの換気スリットに被らないよう注意してください。

化粧モルタルの上端がキソパッキンロングの換気スリットに被っている場合は、水切りの下端を定木替わりとして金コテをあてがいモルタルを取り除いてください。

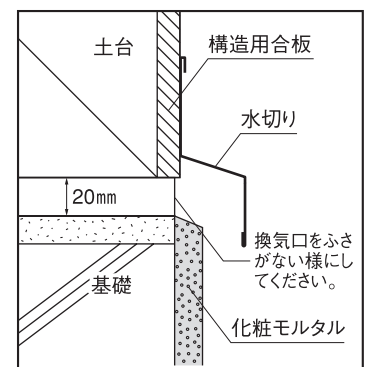
※化粧モルタルがキソパッキンロングの換気スリットに被らないよう、別売品の下端起し(C-10)を左官定木としてお使いいただくことも可能です。

### 《基礎化粧モルタルの施工要領と水切りの納まり》

#### ●在来軸組工法



#### ●枠組壁工法

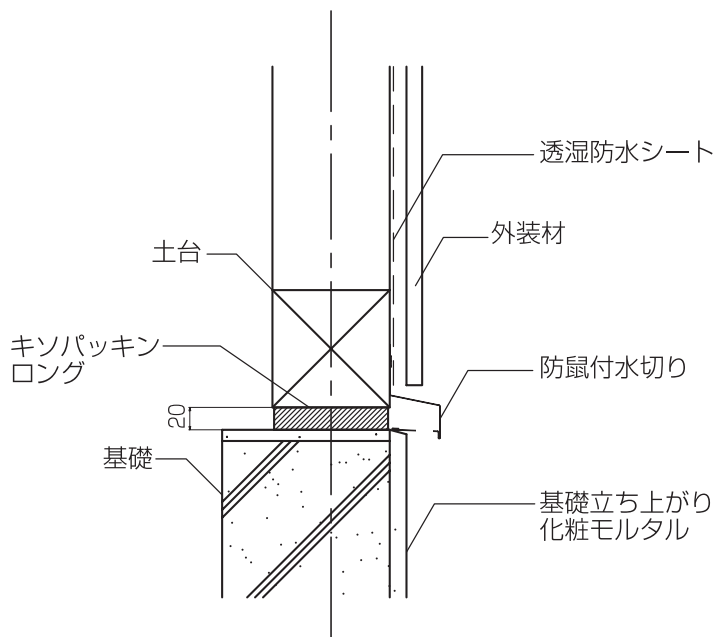


**！ 注意** Joto防鼠付水切り(防鼠付通気水切り)以外の水切り(サイディング役物、板金工事にて別途用意する水切り)を使用する場合、工事管理者および施工者は、上記「基礎化粧モルタルの施工要領と水切りの納まり」図に従って換気スリットの開口部を確保できる形状と寸法の確認をした後、留め付けてください。

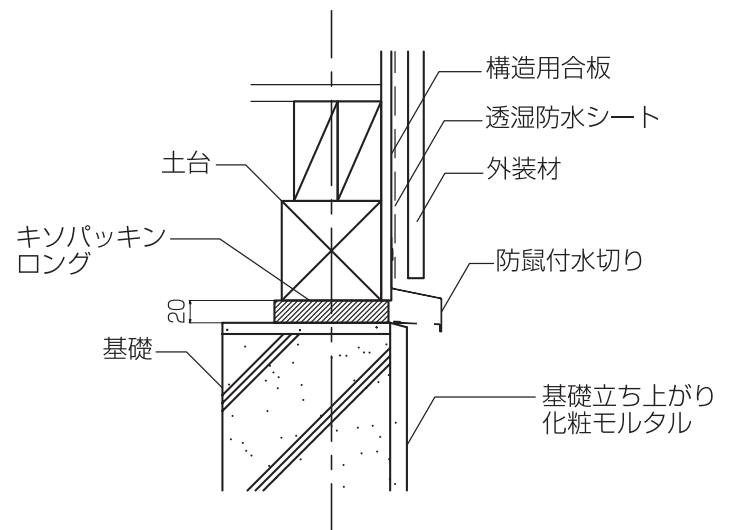
## 参考納まり図

※従来施工されている土台と基礎天端の間に敷き込まれている防湿シートなどは不要です。  
(換気開口部分を遮蔽する弊害となるので使用しないでください。)

### 在来軸組工法の場合



### 枠組壁工法の場合



## 製品仕様

品名	キソパッキンロング		
品番	KP-L102	KP-L120	KP-L150
色・柄	ブラック		
寸法	102×911×20mm	120×911×20mm	150×911×20mm
材質	JC (ポリオレフィン樹脂+炭酸カルシウム)		
梱包	20本/ケース		

本施工説明書の示す使用取り扱い条件を逸脱した場合は、本製品に関する性能・品質および構造体の安全性についての保証はできません。

